

単元名 かたかなの かたち

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。
(2) 語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
(3) 形の似ている字を探し、片仮名の言葉を使った文を書こうとする。

標準的な展開例

01010303_001

【教材名】かたかなの かたち (下 P. 86～P. 87)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 平仮名と片仮名の形を比べたり、形に注意して片仮名を書いたりする。 ★形に気を付けて、片仮名を書こう。 ○教科書 (P. 86) の形の似ている平仮名と片仮名や、片仮名と片仮名を比べて、相違点を発表する。 ○教科書 (P. 130～131) の「かたかなとひらがな」を見て形の似ている字を探す。</p> <p>○相違点に注意しながら、形の似ている片仮名を書く。</p> <p>3 教科書 (P. 87) の片仮名の語句を使って文を作る。</p> <p>○教科書 (P. 87) の片仮名を声に出して読み、ノートに書く。 ○教科書の語句を使って、短文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直線と曲線、止め、はらいなどの違いに着目させる。 ・一字ずつ声に出して読み、形は似ているが違う文字であることを認識させる。 【評】形の似ている字を探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・相違点を確認しながら、一字一字丁寧にノートに書かせる。 ・書き順や運筆にも注意して練習させる。 【評】片仮名の語句を使って文を作る活動を通して、片仮名を文や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。 ・長音、拗音の書き方に注意させる。 ・文の中で片仮名を使う練習をして、習熟を図る。 ・身の回りにある片仮名を見付けさせ、見付けた片仮名を使って文を書かせるのもよい。 ・時間があれば、作った短文を発表し合うのもよい。 【評】短文作りの活動を通して、片仮名の言葉を使って文を書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】短文作りの活動を通して、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】